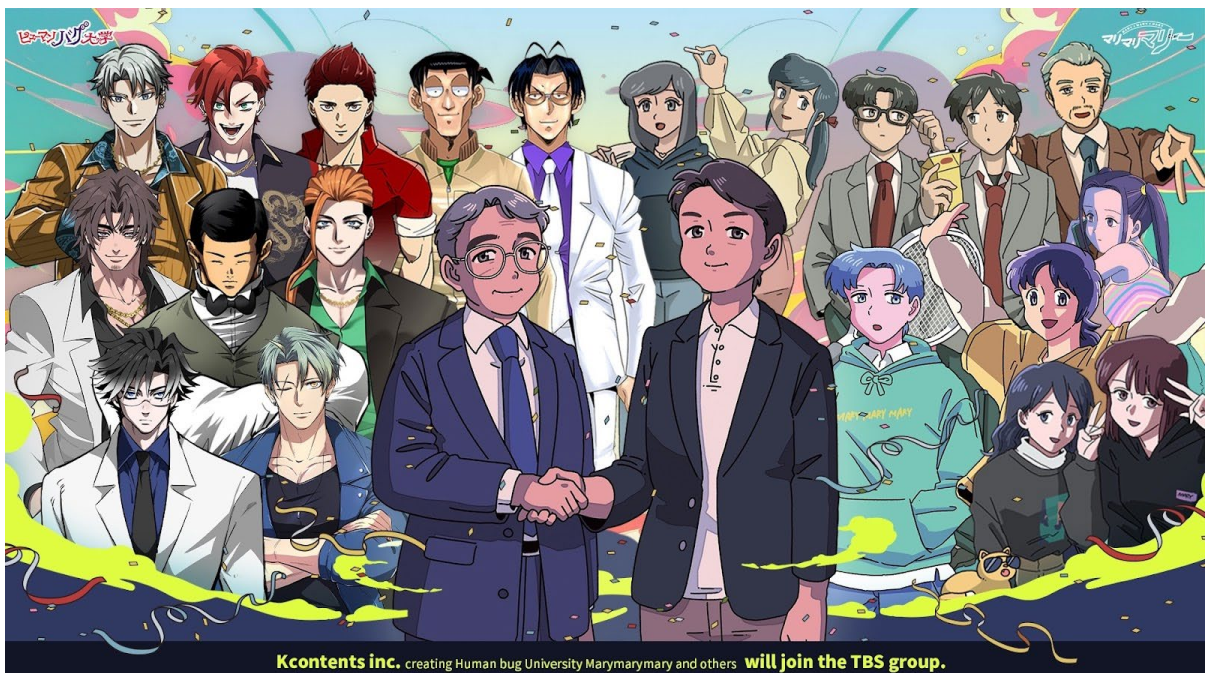


2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社TBSホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 阿部 龍二郎  
(コード：9401 東証プライム)  
問合せ先 事業投資戦略局長 渡邊 真二郎  
(TEL：03-3746-1111)

### 株式会社ケイコンテンツ 子会社化のお知らせ



株式会社TBSホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿部龍二郎、以下TBS）は、IPの収益最大化を目指す新会社CIP（仮）が、株式会社ケイコンテンツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：平山勝雄、以下ケイコンテンツ）の株式51%を取得し、子会社化することを決定しました。

ケイコンテンツは、YouTube中心に高い人気を誇る『マリマリマリー』『ヒューマンバグ大学 -不死学部不幸学科-』、人気野球系チャンネル『トクサンTV』など、魅力的なIPを多数展開しています。特に『マリマリマリー』は、2021年YouTube公式「国内急成長クリエイター」1位を獲得。多くのナショナルクライアントとタイアップ実績を持ち、Z世代に響くIPの企画・開発力、そしてSNSを駆使したMD（マーチャンダイジング）マーケティング力に強みを持つ企業です。

TBSは、ケイコンテンツをグループに迎え入れることで、以下の展開を加速してまいります。

**アニメーション制作の強化：**TBSグループのストーリー制作のノウハウを活かし、『マリマリマリー』『ヒューマンバグ大学』のアニメーション展開を強化し、さらなるファン層の拡大を図ります。

**多角的な事業展開：**地上波放送や配信に加え、商品化、イベント、ゲームなど多角的なメディア展開を通じて、各IPの収益性を最大化します。『トクサンTV』においては、新たなスポーツ関連コンテンツの開発やイベント展開も視野に入れます。

**新規IPの創出：**ケイコンテンツが持つ新たなIPを生み出す力と、TBSグループ全体で積極的なクリエイター人材の交流を通じて、新規IPを共同で開発してまいります

TBSは、「最高の“時”で、明日の世界をつくる。」ことをブランドプロミスとして掲げ、様々なフィールドで心揺さぶる時を届け、社会を動かす起点を目指しています。Z世代向けIPを数多く排出する株式会社ケイコンテンツへの出資により、「TBS グループVISION2030」の中核をなすEDGE戦略のDigital、Experience領域を更に推進するものであります。

今後、グローバル展開も含めた多角的な展開を目指し、ケイコンテンツとの連携を強化し、『マリマリマリー』『ヒューマンバグ大学』の新たな展開を具体的に進めてまいります。また、PLAZA、U-NEXTに加え、赤坂サカス、赤坂エンタテインメント・シティといったグループ施設との連携についても具体的に検討を進めてまいります。

これらのIPを、クリエイターと共にこれまで育ててくださったファンの皆様への敬意を胸に、私たちはこれからも皆様の“好き”が広がっていく場所を、誠実に、そして丁寧に作り続けてまいります。

詳細については、今後の発表にご期待ください

#### ◆株式会社TBSホールディングス 代表取締役社長・阿部龍二郎コメント

この度、ケイコンテンツ社の皆さまを TBSグループにお迎えできることを、心よりうれしく思います。

『ヒューマンバグ大学』『マリマリマリー』『トクサンTV』をはじめ、同社が手掛ける多彩なコンテンツは、多くのファンに愛されており、その創造力とファンを大切にする姿勢に心より敬意を表します。

平山社長と幾度も対話を重ねる中で、コンテンツへの情熱とものづくりに対する真摯な姿勢に共感し、共にさらなる成長を遂げたいと強く思いました。多くのファンの皆様を大切にすると同社と協働する過程で、私たち自身も多くを学ぶことができると確信しています。

ケイコンテンツ社の皆さまが生み出す魅力的な作品が、これまで以上に幅広い方々に愛されるよう、同じグループの仲間として力を合わせ、挑戦を続けてまいります。

◆株式会社ケイコンテンツ 代表取締役社長・平山勝雄コメント

ケイコンテンツが手がけてきたIPは、私たち作り手にとって「共に生きてきた存在」です。ファンの皆様の「好き」という気持ちが熱となり、熱狂となり、そのひとつひとつがIPに命を吹き込んできました。

私たちが信じるのは、「好き」という感情の力。心から好きと思えるキャラクター、ストーリー、表現があるからこそ、人は夢中になり、人生の一部にしてくださる。そんな“熱狂の場”をこれからも生み出し続けたい。

今回の資本業務提携を通じて、TBSグループが持つ制作ノウハウやネットワークと融合し、IPの力を一層広げていくチャンスを得たと感じています。

より豊かに、より自由に、IPの可能性を広げながら、ファンの皆様と一緒にこの“命あるIP”を育てていきます。

以上